

歩行者の通行に配慮するため、  
縁石を併用したハンプを設置



ビッグデータで問題意識を共有、  
ハンプ設置済地区のビデオ映像で理解促進



## 02.愛媛県松山市 (東石井地区)

### 広域図



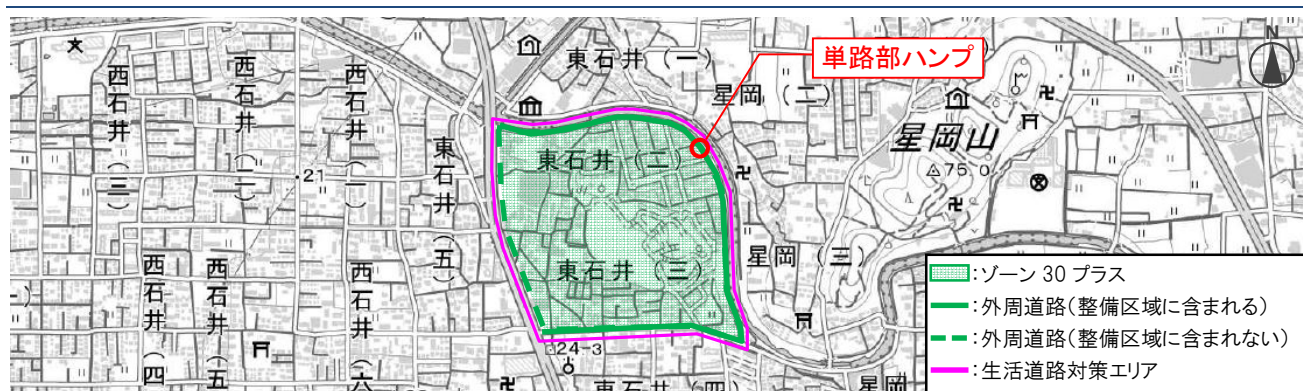
背景の地図の出典: 国土地理院

整備計画等 策定状況	ゾーン 30 プラス 生活道路対策エリア
対策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ゾーン 30 に指定</li> <li>➤ 単路部ハンプ 1 箇所 他</li> </ul>
生活道路の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 幹線道路からの抜け道利用が多く、車両の走行速度が高い(30km/h 以上の車両が 40~50%)ため、住民から安全対策の要望があった</li> <li>➤ 通学時間帯には地区内進入禁止の規制がされているが、順守されていないと思われるケースが散見され、対策の必要性があった</li> </ul> <p style="text-align: right;">*ETC2.0 プローブ情報</p>

設置の  
特徴歩行者の通行に配慮するため、  
縁石を併用したハンプを設置

## 物理的デバイスの概要

## 設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

## 設置内容

	内容	備考
設置箇所数	1箇所	
設置時期	2017年3月	
ハンプの形状	<b>【単路部ハンプ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平坦部の長さ 2m</li> <li>ハンプの高さ 10cm</li> <li>傾斜部の勾配 平均 5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術基準を参考</li> </ul>
構造及び 付属施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>アスファルト製ハンプ</li> <li>平坦部、傾斜部のカラー化</li> <li>ゴム製ポール</li> <li>縁石</li> <li>自発光鋏</li> <li>仮設看板</li> <li>路側帯のカラー化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薄層カラー舗装</li> <li>平坦部、傾斜部：ベンガラ</li> <li>ゴム製ポール：緑</li> <li>試行設置のため</li> <li>路側帯：緑</li> </ul>
技術的な工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ハンプ設置箇所で確実に歩行者空間を確保するため、縁石、夜間点滅する自発光鋏、ゴム製ポールを設置し、歩行者の通行空間をわかりやすくした</li> <li>◆可搬型ゴム製ハンプと比較し、設置費用や施工期間からオーバーレイでの設置を選択</li> <li>◆試行の位置づけであるため、既設舗装上に設置(5cmずつ2層で設置)することで、地下埋設物等への干渉がないように配慮</li> <li>◆今後の水平展開を見据え、なるべくコンパクトな構造を目指し、国交省の技術基準の各最小値を採用</li> </ul>	



# 設置状況



概観



縁石の併用



既設舗装上に設置(オーバーレイ)



ゴム製ポール・自発光鋌



仮設看板



通行状況

合意形成  
のポイント

ビッグデータで問題意識を共有、  
ハンプ設置済地区のビデオ映像で理解促進

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

設置に至るまでの経緯  
(道路管理者の動き)

合意形成の概要

生活道路対策エリア登録(2016.3)



本設置(2017.3)  
・単路部ハンプ 1 箇所

ゾーン 30 プラス整備計画策定(2023.4)

2016.8 現地調査  
・東石井地区の課題の把握  
・現地状況の確認

2016.12 第 1 回住民説明会  
・生活道路における事故対策の必要性  
・東石井地区の現状と課題  
・対策案の概要


**Point** 他地区の社会実験の事例など複数箇所のハンプのビデオを上映し、理解を深めた

**Point** ETC2.0 プローブ情報の分析結果を活用することで東石井地区の交通課題を改めて認識、共有することができた

「試行」の位置づけで設置

2018.2 第 2 回住民説明会  
・ハンプ設置後の効果検証結果

## PDCA の中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
現況調査 計画策定 <Plan>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 現地調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 2016年8月</li> <li>参加者 国土交通省、松山市、松山南警察署</li> <li>内容 東石井地区の課題の把握、現地状況の確認</li> </ul> </li> <li>❖ 第1回住民説明会               <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 2016年12月8日</li> <li>参加者 住民、松山市</li> <li>提示資料 生活道路における事故対策の必要性 東石井地区の現状と課題 対策案の概要</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住民説明会では、他地区の社会実験の事例など複数箇所のハンプのビデオを上映し、理解を深めた</li> <li>• ハンプの通行状況のみでなく、設置前の通行状況もビデオで見れたのがよかった</li> <li>• ETC2.0 プローブ情報の分析結果があったので対象箇所の速度や抜け道利用の実態を示しやすかった また、分析結果を確認することで、特に「速度」が高い状況について改めて認識を共有することができた</li> </ul>
対策実施 <Do>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 本設置               <ul style="list-style-type: none"> <li>運用開始 2017年3月</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「試行」の位置づけで設置</li> </ul>
評価 <Check>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 第2回住民説明会               <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 2018年2月</li> <li>参加者 住民、松山市</li> <li>内容 ハンプ設置後の効果検証結果</li> </ul> </li> </ul>	
対策改善 <Action>		

## 合意形成における道路管理者からみた特筆事項

円滑な検討に 結びついた点	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 速度状況、抜け道利用状況の客観的データがあったことで問題意識を住民とより深く共有。</li> <li>◆ 現地調査によって東石井地区の現状の確認や他地区の設置前後の事例をビデオ映像で示すことにより、課題や計画が理解を深めた。</li> <li>◆ 試行的に設置したことで、住民からの合意も得やすかった。</li> <li>◆ ハンプの設置効果を住民と共有することで、ハンプの効果だけでなく必要性も認めもらうことができた。</li> </ul>
考えられる 今後の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ハンプを1箇所設置しただけでは速度が落ち切らないのではという意見が住民からあったため、今後、連続設置を考えたい。その中では、合意形成が比較的容易な交差点ハンプの設置も検討したい。</li> </ul>